

どうして3階建てなの？

設計業者に基本設計案を、「2階建て2案、3階建て2案」の「計4案」を作成してもらい、庁舎建設推進本部で評価したところ、「3階建ての1案」が最も評価が高く、これを議員の皆様説明し、採用することとしました。

なお、これは基本構想で掲げた6つの基本方針に沿ったものとなっております。

【主な理由】

- 駐車場スペースや堆雪スペースを、より多く確保できる
- 3階を議会スペースに特化することで、順路がわかりやすく、十分な傍聴やくつろぎのスペース等を確保でき、議会に参加しやすい環境を創ることができる
- 町民の皆様にわかりやすく手続きしやすい見通しや動線を確保できる

いくらかかるの？ どうやって返済するの？

新庁舎建設事業費は、建設工事費約18億円、その他、用地費や設計費などを含めて**約20億円**を予定しています。

庁舎建設事業の財源には、**地方債（市町村役場機能緊急保全事業）と役場庁舎建設基金**を充てる予定です。この地方債は、庁舎建設費の90%に充てることができ、返済する金額の25%について国からの支援（交付税算入）があります。

庁舎建設事業の約20億円のうち、地方債発行額は約16億円を予定しています。発行した地方債は、20年間で返済する計画です。このうち25%にあたる**約4億円**が交付税算入される見込みです。

町の負担分は、建設事業費約20億円から交付税算入額約4億円を差し引いた**約16億円**となる予定です。この負担分に役場庁舎建設基金を充てる予定です。

役場庁舎建設基金は、町民の皆様や企業等への原子力立地給付金の交付額を減額させていただいた分を積み立てしたものです。（原子力立地給付金の交付額を福祉事業等に充て、元々福祉事業等に充てる予定だった一般財源等を積み立てしました。）

建設事業費	約20億円
交付税算入額	約4億円
役場庁舎建設基金（町の負担分）	約16億円

イメージパース図（議場）



町では、老朽化や狭隘化など、現役場庁舎の抱える様々な課題を解決するため、町民の皆様で構成する庁舎建設検討委員会や議員の皆様などのご意見やご要望を伺いながら、役場の職員等で構成する庁舎建設推進本部で課題整理や調整を行い、新庁舎建設事業の推進に取り組んでまいりました。

この度、建物の構造や詳細な図面、工事費等を積算する新庁舎の実施設計がまとまりましたので、その概要をお知らせいたします。

今後、入札を行い、請負業者との間で仮契約を締結後、6月に開催される町議会の議決を経て本契約を締結し、早ければ今年7月から建設工事に着手する予定です。

建設工事中は、町民のみなさまにご迷惑をおかけする恐れがありますが、ご理解、ご協力をよろしくお願いいたします。

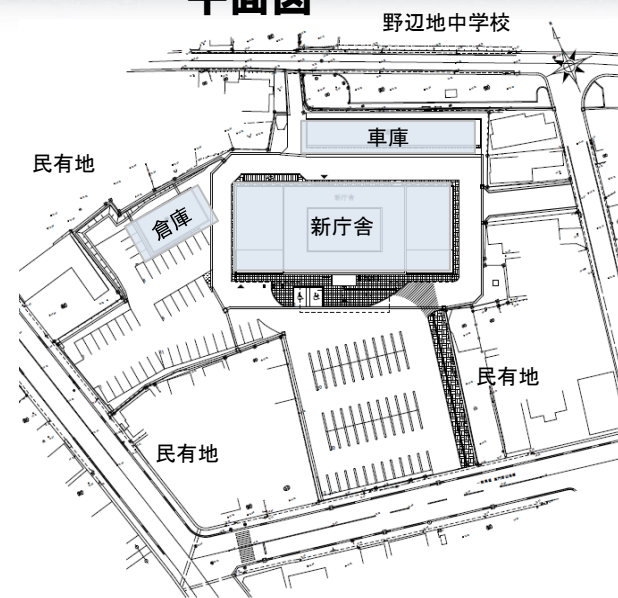
イメージパース図（外観）

イメージパース図は、今後変更になる場合があります
庁舎の色は暖色系を予定しています

今の庁舎と違う点は？

- 高い耐震安全性を有する構造
- 保安用として、72時間運転可能な非常用発電設備、防災倉庫
- 災害時の行政サービス継続に備えた太陽光発電設備
- バリアフリー及びユニバーサルデザインを考慮した設備
- 利用者の多い部署を1階に集約
- プライバシーに配慮した受付カウンター、相談室（4室）
- 町民サービス向上のための授乳室、キッズコーナー、救護室
- 各階にくつろげる待合スペース
- 健康増進センター、中央公民館に分散していた窓口の集約
- 議場内の十分な傍聴スペース
- 来庁者の利便と安全に配慮した駐車場及び歩道
- 約100台分の駐車スペース、約34台分の駐輪スペース

平面図



どんな庁舎ができるの？

建設地	野辺地町字野辺地、浜掛地内 （野辺地中学校南側新町地区）
敷地面積	7,860.03㎡
延床面積	庁舎3,482.46㎡ 車庫320.02㎡ 倉庫（2階建て）346.00㎡
建物階数	3階建て（一部3階建て）

今後のスケジュールは？ （予定）

H31年度 （2019年度）	H32年度 （2020年度）	H33年度 （2021年度）
7月～ 建設工事		1月～ 供用開始

新庁舎実施設計まとまる
7月にも工事着手予定！